

ラジオ番組「おはよう！ニッポン全国消防団」 池田達雄消防庁長官 出演

(放送日 令和7年5月24日(土)又は25日(日))

(公財)日本消防協会



紹介

ひろたアナ：「おはよう！ニッポン全国消防団」、
今日は総務省消防庁長官、池田達雄
さんにお話を伺います。
おはようございます。

池田長官：おはようございます。

消防庁について

ひろたアナ：早速ですが、総務省消防庁はどのよ
うなお仕事をされているところか教
えていただけますか。

池田長官：消防は地域の皆さんの生命と財産を
守る仕事です。
現在、全国で約16万9千人の消防職
員、約74万7千人の消防団員の方が
活動しておられます。
総務省消防庁は、消防職員と消防団
員の活動を支えるための仕組みづく
り、財政支援を行っています。
また、地震や風水害、大規模な林野
火災など、大きな災害が発生した場
合、地元の消防機関だけでは対応で
きませんので、「緊急消防援助隊」
という制度があり、全国の消防機関
からの応援部隊の派遣を行うなど、
大規模災害対応の司令塔としての役
割を担っています。

ひろたアナ：まさに日本消防の要というところで
すよね。
昨年地震や台風をはじめ各地で大
きな災害がありました。そのような

時、消防団員の皆さんはどのような
活動をされたのでしょうか。

池田長官：昨年を振り返ってみますと、能登半
島地震や秋の奥能登豪雨の発生な
ど、日本各地で災害が相次ぎまし
た。

また、昨年8月には、運用開始後初
めとなる南海トラフ地震臨時情報
が発表されることとなりました宮崎
県日向灘を震源とする地震が発生し
ました。

今期に入ってから記録的な大雪の
ほか、大船渡市や今治市、岡山市を
はじめ、各地で大規模な林野火災が
発生しております。

能登半島地震や大船渡林野火災など
には、先ほどの緊急消防援助隊を大
規模に派遣しました。このような災
害現場において、消防団員の皆様に
は、自ら被災した方もいらっしゃる
中、いち早く現場に駆け付けつけて
いただいて、避難の呼びかけ、救助
活動、それから火災現場での消火活
動、夜間の警戒など、昼夜を分かた
ず懸命に活動していただきました。
こうした活躍の様子は、ニュースな
どでも大きく取り上げられましたの
で、国民の皆様にも、消防団の重要
性を再認識いただいたのではないかと
思います。

災害の時こそ、消防団。これはなく
てはならない存在だと思っております。

消防団の課題・消防庁の消防団に関する取組

ひろたアナ：こうした消防団に対する、消防庁としての最近の取組にはどのようなものがありますか？

池田長官：今、日本全体が人口減少社会ですので、残念ですが、消防団員数も減少傾向が続いております。

一方で、先ほど申し上げたように、災害の規模が大きくなるほど、地域に密着した消防団の力が重要です。

総務省消防庁といたしましては、消防団員の確保をはじめとする消防団の充実確保を図ることが大事だと考えております。

具体的には、報酬の引き上げや、消防団員の処遇の改善、女性や若者層をターゲットに置いた加入促進の広報など行っていますほか、活動内容を限定した機能別消防団員という制度の活用でありますとか、企業と連携した入団促進など、様々な対策を実施しております。

また、今年から全国で行うことにしました、ドローンの操縦講習を消防団員向けに実施するという事業があります。女性や若者の関心が高いと思われるので、このような技術が習得できるメリットを周知することで、消防団への入団促進につなげていきたいと考えております。

さらに、本年1月には、地方自治体や各消防本部に向けて「消防団員の確保に向けたマニュアル」を初めて作成いたしました。

このマニュアルは、女性や若者をはじめとする幅広い住民の入団促進等に向けて、各地域の優良事例を取り上げて、そのノウハウを紹介しております。

また、残念なことですが、消防団に入ると行事や訓練等の負担が大きいのという声も耳にします。

団員の負担軽減を図る働き方改革、こ

ういったことも重要ですので、優良な取組事例もこの中で紹介しております。

こうした様々な方策を通じて、消防団の加入促進を後押ししていきたいと考えています。

メッセージ(消防団員向け)

ひろたアナ：本当に様々な取組をされているんですね。この番組は消防団の方も聞いてくださっています。消防団員の皆さんに長官からメッセージをお願いいたします。

池田長官：全国の消防団員の皆様、それぞれお仕事を持ちながら、「自分たちのまちは自分たちで守る」ために、地域コミュニティに貢献していただいていることに、この場を借りて本当に心から感謝したいと思います。

近年、災害が激甚化・頻発化する中で、能登半島地震の例でも分かりますとおり、災害時に地域の住民の方々が助け合うという「共助の力」これが本当に大切です。消防団はその中心にいます。

今後とも地域の安全・安心を確保するため、より一層の御協力を消防団員の皆様には、お願いしたいと思います。

むすび

ひろたアナ：ありがとうございます。池田長官の熱い言葉が励みになった方もたくさんいらっしゃるんじゃないでしょうか。

「おはよう! ニッポン全国消防団」、消防庁長官の池田達雄さんにお話を伺いました。

ありがとうございました。

池田長官：こちらこそどうもありがとうございました。